

大山たか子のホット情報

高松市由良町でこのほど、住民悲願の市道が拡幅整備され、喜ばれています。この市道は、道幅が狭く、路肩は土や草がむき出しの状態です。地元住民から水利組合員に「道路の道幅が狭くて、いざという時に緊急車両が通れない。何とかありませんか」との相談が。どこに相談しようかと考えていたとき、現場付近のカーブミラーが大山たか子市議の推進で設置されたこと聞き、「この人なら何とかしてくれるかもしれない…」と、公明党支援者を通じて大山市議へとつながりました。

大山市議は直ちに、市道路整備課に対策を要望。整備に必要な土地の問題などで難航しましたが、地元の議員も尽力し、粘り強く一つ一つの課題をクリア。相談から約5年の歳月を経て、ついに約270メートルにわたって市道が拡幅、舗装されました。



聴覚障がい者を守る

「手話言語条例」制定へ

聴覚障がい者が歩行中や病院の診察で不快な思いをしたという経験を聞きました。私は、聴覚障がい者への理解と手話の普及の必要性を痛感。2018年3月定例会で手話への理解を深める「手話言語条例」の制定を提案し、今年3月に条例がスピード制定される見込みです。

市営住宅集会所にパイプイス

ある市営住宅の集会所で懇談をした際、誰も座布団に座らず、ソファや低いテーブルに腰掛けていました。その光景を見た私は、集会所にパイプイスの設置の必要性を痛感し、市担当課に要望。その結果、全ての市営住宅の集会所にパイプイスの設置が実現。現場に足を運んだからこそ実った実績の一つです。

マザーズハローワークに授乳室を設置

公共施設には授乳できるスペースがまだまだ少ないのが現状です。マザーズハローワークでは、若いお母さんがトイレで授乳していることを耳にし、私は、早速、公明党の国会議員と連携。わずか、半年後には授乳室の整備が実現し、おむつを交換できるベッドも設置されました。



胃・肺がんの個別通知が実現

がん検診のお知らせは、自治会の回覧板で周知しており、受診率が低迷していました。そこで、私は議会質問で、対象者全員に通知するように提言した結果、全員に受診を呼び掛ける個別通知制度が実現し、受診率も大きく伸びています。

がん検診に託児サービスがスタート

「子どもがいるのでがん検診に行けない」との声を聞いた私は、本会議の議会質問で、託児付き検診の実施を要望。その結果、乳がん、子宮頸がんの検診時に、子どもを無料で預かる託児サービスがスタート。私はこれまでも、がんの土日検診の実施、無料クーポン配布、受診券の配布対象拡大など、がん対策を大きく前進させてきました。



大山たか子通信

高ちゃんつうしん

* 2019.2 No.49 *



市議会:087(839)2831 自宅:087(888)3272

eメール:takachan@mxi.netwave.or.jp HP:http://wwwi.netwave.or.jp/~takacha

公明党には、「大衆とともに語り、大衆とともに戦い、大衆の中に死んでいく」との不変の立党精神があります。私も今、再び決意も新たに、子を持つ母の視点、働く女性の視点、そして親の介護経験で培った介護の視点を活かし、女性が生き生きと活躍できる社会の実現に取り組んでまいります。

そして、徹して一人に寄り添い、赤ちゃんからお年寄りまで全ての方々が「安心して暮らせる高松」を目指し、全力で働いてまいります。



1月2日、山本ひろし参院議員らと新春街頭演説会を高松市内で行いました。

公明党として初、「副議長」に就任



昨年5月、高松市議会の臨時議会で、自民党以外からは57年ぶりとなる第93代副議長に選出され、身の引き締まる思いでいっぱいです。

年末の消防団夜警訪問や市場の初出荷、出初式、研修会への参加などの公務に奔走しています。どこまでも市民目線で、市政の発展に尽力して参ります。



1月13日、石田祝稔党政務調査会長と、成人の日記念街頭を実施しました。

生年月日:1959年(昭和34年)8月30日生まれ 59歳。

学歴:川添小学校、協和中学校、高松第一高校を卒業。2003年に初当選、現在4期目。

資格:防災士、手話奉仕員入門編、ピンクリボンアドバイザー中級、ユニバーサルマナー検定2級。

川島校区

●川島東町の道路整備、山田中学校横の農道に信号機を新設。信号機は県議と連携して、3カ所に設置しました。



林校区

●林小学校南門の西側水路に転落防止のフェンスが完成しました。



一宮校区

●寺井町で道路舗装、水路への転落防止の反射鏡付きポールを設置しました。



三深校区

●三谷町の市道沿いの水路に転落を防ぐガードパイプと反射鏡付きポールの設置が実現しました。



前田校区

●長尾街道沿いで見通しの悪い交差点にカーブミラーを設置。カーブミラーは、35カ所以上設置を推進しました。



十河校区

●小村町で騒音防止対策のグレーチング整備や、路肩の整備、2面鏡カーブミラーを設置しました。



地域に広がる 大山たか子の実績

川添校区

●東山崎町の道路で排水対策や、春日川沿いの道路を時速40キロに制限するエリアに指定しました。



植田・東植田校区

●池田町で崩れかかっていた路肩の改修工事が実現したほか、西植田町の水路整備、ガードレール、カーブミラーの設置を推進しました。



「超特小ごみ袋」の販売を推進

一人暮らしの高齢者から、「特小（10リットル）のごみ袋でも、大きくて使い切れない。生ごみもあるのでもっと小さいごみ袋がほしい」一人暮らしの方も使いやすい「超特小ごみ袋」の販売を推進との要望を受けました。

夫婦二人暮らしでも特小で十分なのでその通りだと実感。生活者の目線で市当局へ要望した結果、超特小ごみ袋（5リットル）の指定収集袋が販売され、大変喜ばれています。



障がい者等駐車場に屋根を設置

市役所西隣りに整備された「たかまつ防災プラザ」の身体障がい者等駐車場に、屋根が設置されています。これは、整備計画を聞いた際、屋根がないことを指摘、要望したことが実現したものです。

障がい者の方は車に乗り降りする際に時間がかかるため、特に雨天時には大変喜ばれています。昨年9月に開院した高松市立みんなの病院にも整備されたほか、今後、建設される公共施設にも設置される予定です。



党員の皆さんと、新川の河川敷でクリーン作戦を行っています。昨年は、県河川協会から表彰されました。



大山たか子の主な実績

◆AEDの公共施設、学校施設への設置推進

AED設置をいち早く要望。市内全ての幼稚園、小・中学校、コミュニティーなどの公共施設に設置。市ホームページで設置場所を確認できるようになりました。

◆マタニティカード・ホルダー作成

妊婦に優しいまちづくりを進めるため、マタニティマークの普及を推進し、優先駐車場で利用できるマタニティカードと、カバンに付けられるマタニティフォルダーを配布しています。

◆乳幼児医療費無料化の拡充

中学3年までの入院費を無料化。2015年4月からは小学6年生までの通院費も無料になりました。

◆放課後児童クラブの対象者と開設時間拡充

放課後児童クラブの対象児童を、小学3年生から4年生までに拡大。利用時間も30分延長し、18時30分までに。緊急時には19時まで預かってくれ、利用者から大変喜ばれています。

◆ユニバーサルデザインのマップ作成

車いすの方より「安心して外出したい」との要望を聞き、障がい者用トイレの場所などを記載したマップが、今年3月までに完成します。

◆ジェネリック医薬品の普及

ジェネリック医薬品に切り替えた場合100円以上の差額が出る人を対象にお知らせを送付。希望者には保険証に貼れるシールを配布しています。

◆プラネタリウムで介護者の入場料が無料に

高松市こども未来館(ミライエ)プラネタリウムで、昨年11月から障がい者の介護者1名の入場料が無料になりました。